



上島町の皆さんこんにちは！
 魚島地区担当ALTのストライカー・ブライアンです。
 先日、おばさんの結婚式のため、アメリカに帰りました。
 その時、感じたことはアメリカの文化や伝統はなくなっ
 たところがあります。確かに、ハロウィン、クリスマスを祝
 うことなどはまだ続けられていますが、個人的には、自分
 の遺伝子や自分の家伝について、時間が過ぎると忘れるよ
 うになり、自分が根ざしたと離れたことが多いです。

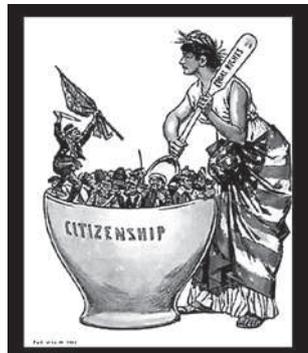
僕はアメリカ人ですが、遺伝子で半分ドイツ人、37.5%
 ぐらい英国人、6.25%以上スウェーデン人、残りは詳しく
 ないけど、ケルト等だと考えられています。僕のお父さん
 は遺伝子で100%ドイツ人ですが、彼もドイツ語が理解で
 きません。多分こういうことは日本人にとっては不思議な
 ことでしょう。でもアメリカ人にとって、こういうことは
 普通です。どうしてこのようになったのでしょうか？

大きな影響の一つは産業革命時代とその次代の雰囲気です。アメリカはメルティングポットという言葉でいろ
 いろな国からの人達が混じって、一つの強い国になることを主張されました。この考え方は理論的には利点が良い
 ようですが、実践の場面で問題点が多かったです。偏見で、入国した外国人は差別されました。アイルランド
 人は「いつも酔っ払っている」や「貧乏な人」という差別があり、世界大戦や第二次世界大戦の時代アメリカに
 住んでいるドイツ人は悪いイメージがあり、ドイツ人に見えないように自宅でドイツ語とか、伝統的なことを禁
 じた状態がありました。違法でアフリカのいろいろな所から連れて来られた人達は奴隷になって、母語と祖国の
 伝統が忘れるように強制されました。その時代、いろいろな国々からの人達は祖国の事を忘れてしまったことが
 多かったです。

これは歴史上だけではなく、現在でも起こっています。基本的には、この問題は保守主義対近代主義の事と関
 係あると思います。

アメリカの文化は進行に向けていますが、伝統主義者も少なくないです。でも、その伝統的な考え方は自分の
 家伝の祖国のことに注目されてなく、アメリカの伝統を目指しています。キリスト教や憲法が変わらないように
 すれば良い考え方です。でも、その民族の元々の宗教はキリスト教ではないですね。欧州の人達はキリスト教の
 前は北欧神話やギリシャ神話など、色々な宗教がありました。現在のアメリカでは、その太古の宗教について
 詳しくない人が多いです。事実、キリスト教が広がった時代にその伝統は合併された
 か衰退した場合は少なくなかったです。アメリカの公立学校でラテン語も教わられて
 なく、教育制度でアメリカの大衆はどんどん歴史から離れています。近代主義と摂取を
 通して、アメリカ人は進行できる為、自分の家伝を供えています。最近、この摂取問
 題はよくなっていますが、まだ磨けるところがあると思います。

僕は、アメリカは歴史上、近代主義で発展できましたが、その為個人の家伝と文化を抜きにされたことが多いと思
 います。だから、この問題は公的だけではなく、個人的にも考えられたほうが良いと思います。どこに行っても、現在社会の問題の一つ
 はそのバランスを見つけることです。主義的なバランスは伝統を保ちながら、将来へ
 向上することだと思いますが、実践にすれば難しいです。次回の記事でそのバランス
 についてもっと詳しく書きたいと思



各地区の英会話教室

- 《弓削》毎週月曜日 13:30～
弓削地域交流センター第1会議室
- 《生名》毎週月曜日 9:00～ 生名公民館
毎週火曜日 19:30～ 生名公民館
- 《岩城》毎週木曜日 20:00～ 岩城総合支所庁舎
- 《魚島》毎週水曜日 19:30～ 魚島開発センター

こんにちは 町長です

明けましておめで
 とうございます。

人間の脳は、嫌な
 事を忘れてリセット
 できる能力があり、

それが次の年の成長に繋がっているとも
 言われています。私もポジティブなほう
 です。嫌な思いは半日で忘れ、楽し
 い思い出が多く残る性格です。

私が昨年幸せに感じた時間の一部を紹
 介すると、自転車の練習で島を30キロ走
 り終えた後、自転車のフレームを磨いて
 いる早朝。東京出張での仕事を終えた後
 の立ち食いそば屋、等々。何が幸せなの
 かと聞かれても自分でもよく分かりませ
 んが、何気ない瞬間に「幸せだな」と
 感じる時があります。もちろん家族との
 他愛のない時間もそうですが、同じ出来
 事であっても幸せに感じる人とそうでな
 い人がいるのかも知れません。

小学生の元気な挨拶や秋祭りの他の地
 区から参加している中学生のひたむきさ、
 保育園から高校までの卒業式にも感動さ
 せられます。

大きな幸せを掴むチャンスは希ですが、
 小さな幸せや感動はいたる所に存在して
 います。今年の上島町行政運営におい
 て、その小さな幸せの積み重ねが町民の
 皆様の「ふるさとの誇り」になるよう力
 を尽くしてまいります。

新年もよろしくお願いたします。

上島町長 上村俊之

